

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】

(①歴史・文化施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	26	施設名	掛川市美感ホール		担当課名	社会教育課
区分		内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市美感ホール設置条例				
	(2)施設設置目的	市民文化の向上及びコミュニティ活動の推進を図るため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	ホール(270席)、会期室1、会議室2				
	(4)施設建設年度	平成3年度				
	(5)耐震性能の有無	有				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	内装改修及びホール天井耐震改修(平成26年頃 約3,300万円)		衛生設備改修(平成31年頃 約7,000万円)		
		外壁改修(平成27年頃 約1,000万円)				
		電気設備改修(平成27～29年頃 約6,500万円)				
		空調設備改修(平成30年頃 約3,800万円)				
	(7)指定管理者名	公益財団法人掛川市生涯学習振興公社				
	(8)指定期間	平成23年4月1日 から 平成28年3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度				
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。		
(11)指定事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。			
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務)		<input type="checkbox"/> 提出なし			
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし		※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成24年度)			

区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	20,798	19,202	19,185		※利用件数(H22:329件、H23:381件、H24:427件)		
	施設・設備ごと	ホール	17,470	16,147	15,690			
		第1会議室	0	376	335			
		第2会議室	1,097	1,077	1,164			
		併用会議室	2,231	1,602	1,996			
	(2)稼働率(利用率)					↓備考欄に算定式を記入してください↓		
	施設・設備ごと	ホール	A平日昼間			19.0%	利用日数/運営日数	
			B平日夜間			8.0%	〃	
			C土日祝昼間			24.2%	〃	
			D土日祝夜間			8.0%	〃	
		会議室	A平日昼間				46.6%	〃(ホール併用含む)
			B平日夜間				3.5%	〃(ホール併用時のみ)
C土日祝昼間						22.6%	〃(ホール併用含む)	
D土日祝夜間						3.5%	〃(ホール併用時のみ)	
		A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
		D土日祝夜間						

		A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		300	294	289		
	(3)運営日数		306	318	310	309	
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	3.0	3.0	3.0	3.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	5,448,196	4,744,617	4,771,210	5,002,000	
	②印刷費	0	35,700	33,600	80,000	
	③通信費	205,655	215,415	213,932	230,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	12,913	16,687	16,516	20,000	
	⑤借上料	261,520	244,620	247,464	249,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	297,857	380,064	240,220	365,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	20,105	15,292	16,292	10,000	
	計	6,246,246	5,652,395	5,539,234	5,956,000	
	対前年度増減率			△ 9.5	△ 2.0	7.5

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	2,793,698	2,775,097	2,716,354	2,747,000	
	消防設備保守点検	204,225	200,550	200,550	201,000	
	警備保障業務	448,560	448,560	448,560	449,000	
	電気工作物保守点検	228,060	183,960	183,960	184,000	
	空調設備保守点検	294,000	294,000	273,000	273,000	
	館内清掃業務	795,900	795,900	795,900	796,000	
	舞台設備機器保守点検	730,380	660,450	626,850	628,000	
	その他	92,573	191,677	187,534	216,000	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	920,745	367,755	1,114,785	200,000	
	③光熱水費	3,144,134	3,151,315	3,137,655	3,020,000	
	④燃料費	17,401	7,576	8,786	10,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	616,873	158,361	240,229	367,000	
	計	7,492,851	6,460,104	7,217,809	6,344,000	
	対前年度増減率		△ 13.8	11.7	△ 12.1	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		13,739,097	12,112,499	12,757,043	12,300,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		45.5	46.7	43.4	48.4	
(5)施設の収入 ※1)下記3)に入力する		3,922,750	3,836,480	4,184,940		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		62.8	67.9	75.6		

3 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	3,922,750	0	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	13,450,000	0	0	
収支差額 a) - b)	△ 9,527,250	0	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	3,836,480	4,184,940	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)	0	△ 8,276,019	△ 8,572,103	
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)	0	8,800,000	8,600,000	

(3指定事業及び)自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	シオーネに一括計上
b) 指定事業の支出	0	0	0	シオーネに一括計上
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	0	0	シオーネに一括計上
d) 自主事業の支出	0	0	0	シオーネに一括計上
収支差額 c) - d)	0	0	0	

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
(1) 施設の収支差額の改善について 【行革推進係から】	平成23年度の利用料金制(併用制)採用前に比べ収入額は増加している。また、施設管理費についても利用料金制採用前に比べ減となっている。しかしながら、前年度の施設管理費に比べ微増となっている。	指定管理者に対し、全体的なコスト削減はもちろん、経費として割合の高い人件費の抑制を図るため、他の2施設(生涯学習センター、美感ホール)との連携した合理化により、適正な人員数、配置を求める。 また、今指定管理期間の終了までに、適正な利用料金であるかを調査し、利用件数の増加に比例して赤字が嵩む料金体制とならないものにするほか、料金区分の見直しを図る(例:無料の貸室を有料とし収入増を図る。市内市外の区分の撤去により市外利用者の確保を

<p>いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。</p>		<p>図る。)</p>
<p>(2) 利用者数の増加について</p> <p>【行革推進係から】 一部の人しか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？</p>	<p>利用者数は、利用の内容により上下があり比較は難しいが、毎年度施設利用件数は増加している。合併時の平成17年との比較で約37%の増、利用料金制採用前の平成22年度との比較でも約30%の増となっている。</p>	<p>指定管理者に対し、施設のPRを引き続き実施させるとともに、上記後段の一部に記載のとおり市外利用者を更に獲得するための料金区分の見直しを図る。 また、文化芸術分野の利用者が多い施設であることから、さらに増加を図るため、施設管理と文化振興とに別れた担当課を統合する。 さらに、個人を対象としたメンバーズクラブに法人を加入可能とし、施設利用(貸室)の優遇制度を設ける。</p>
<p>(3) 利用者の満足度向上について</p> <p>【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。</p>	<p>指定管理者による満足度調査では、利用者の約75%が良好な印象を抱いているが、シオーネ、学習センターに比べ低い割合である。 引き続き、利用者の要望、意見を可能な限り反映させ、より高い満足度を得ていく。</p>	<p>他の2施設に比べ満足度が低い理由の一つとして、ピアノの状態にあると思われる。平成25年度において、美感ホールに適したピアノに更新(購入)するため、満足度は向上すると思われる。 また、貸室事業と市の受託事業を優先していることから、自主事業は施設の空き状況を確認しながらとなるため、利用者が確保しにくい日程にならざるを得ない面もある。指定管理者には、イベントを実施することよりも施設の利用率向上に努めることを期待する。そのため、良好な施設環境と接遇の向上、施設PRを積極的に展開するよう指導する。</p>

5 その他自由意見

改善提案については、今後策定される市文化振興計画との調整が必要となる。